

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和2年9月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

- 1. 調査概要 I - 1
- 2. 工事の実施状況 I - 3
- 3. 調査結果の概要 I - 4

II 事後調査結果

- 1. 大気質 II - 1
- 2. 水質 II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和2年9月(大気質、水質)の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要(埋立地周辺における調査 大気質)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	9月1日~30日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要(埋立地周辺における調査 水質(一般項目))

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	9月9日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

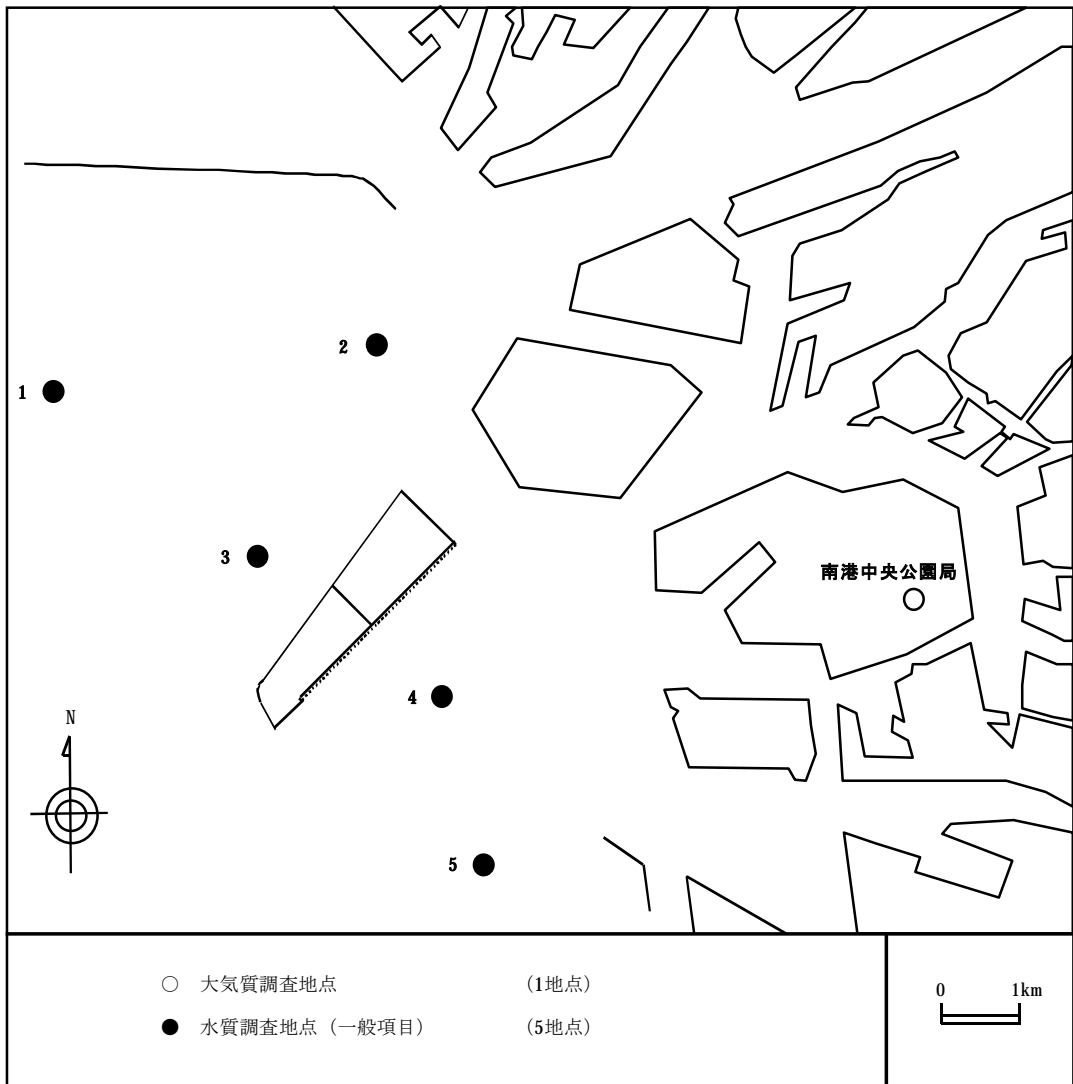
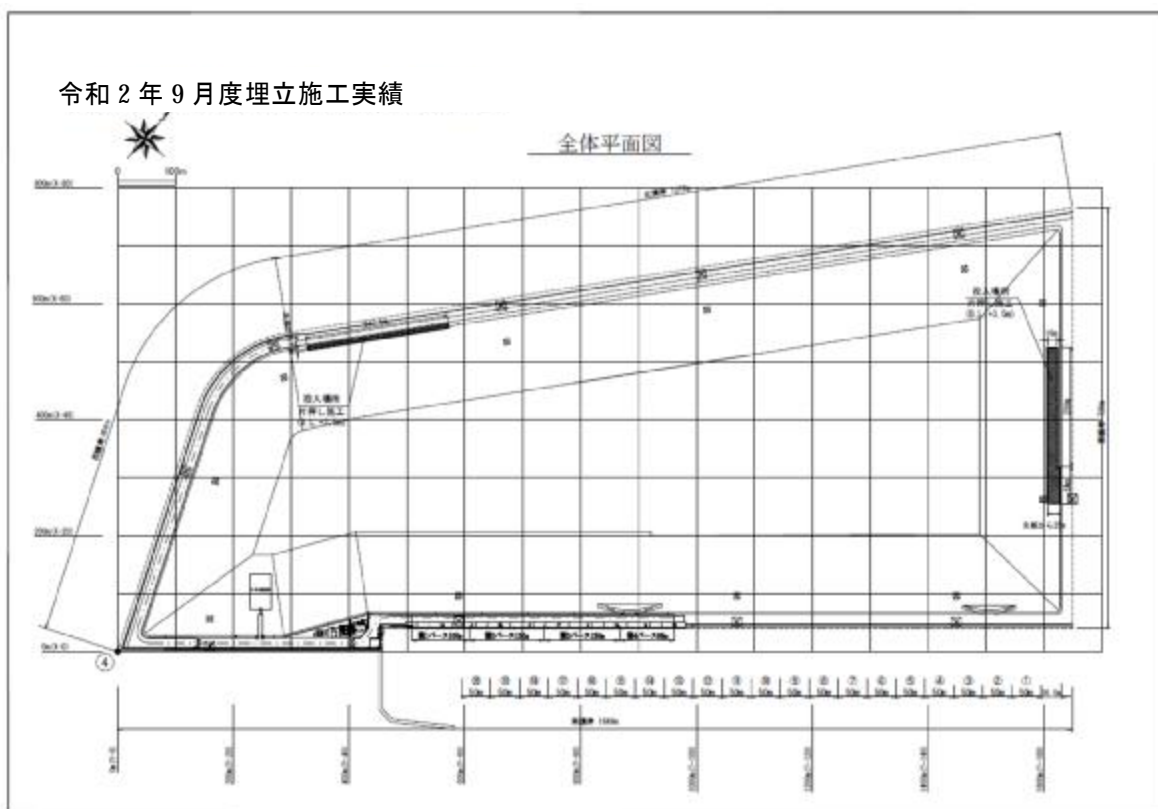


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

2. 工事の実施状況

令和2年9月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m ³)	進捗率(%)
5,721,369	40.9

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】

二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.004ppmであった。また、日平均値の最高値は0.005ppm、1時間値の最高値は0.009ppmであり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.016ppmであった。また、日平均値の最高値は0.030ppmであり、環境基準値の範囲内であった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.013mg/m³であった。また、日平均値の最高値は0.022mg/m³、1時間値の最高値は0.076mg/m³であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で8.1～8.4、下層で7.9～8.1の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 2 (8.4) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は上層で7.7～8.6であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で3.6～5.5mg/L、下層で1.4～2.4mg/Lの範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (5.5mg/L)、調査地点 2 (5.3mg/L)、調査地点 3 (4.5mg/L)、調査地点 4 (4.3mg/L)、調査地点 5 (3.6mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は上層で1.6～4.9mg/Lであり、概ね同程度であるため本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で6.7～10mg/L、下層で1.6～5.1mg/Lの範囲であり、上層では

全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では一部の調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回っていた調査結果は、下層の調査地点 1 (1.6mg/L)、調査地点 4 (1.8mg/L)、調査地点 5 (1.7 mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は下層で 0.6~11mg/L であり、この範囲内にあるため本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.60~1.3mg/L、下層で 0.26~0.50mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 2 (1.3mg/L)、調査地点 3 (0.61mg/L)、調査地点 4 (0.88mg/L)、調査地点 5 (0.68mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46~2.1mg/L であり、この範囲内にあるため本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg /L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.094~0.14mg/L、下層で 0.035~0.13mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っており、下層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.10mg/L)、調査地点 2 (0.12mg/L)、調査地点 3、5 (0.094mg/L)、調査地点 4 (0.14mg/L)、下層の調査地点 1 (0.13mg/L)、調査地点 4 (0.062mg/L)、調査地点 5 (0.082mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L、下層で 0.020mg/L~0.25mg/L であり、いずれもこの範囲内にあるため本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 6~8 度(カリン)、下層で 2~4 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 4~6mg/L、下層で 2~3mg/L の範囲であった。

8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 26~51 μ g/L、下層で 1.3~9.1 μ g/L の範囲であった。

《 参考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m³ 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m³ 以下であること。

(2) 水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全燐 (T-P)	0.05mg/L 以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全燐の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が **75%**以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「**75%**水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ **0.75×n** 番目（**n** は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって **75%水質値**（**0.75×n** 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち **75%**以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成 12 年度・調査地点 1~5)	
		最小値 ~ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ~ 8.6 (13/60)	-
	下層	7.8 ~ 8.3 (0/60)	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ~ 4.9 (34/60)	3.2 ~ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ~ 3.6 (4/60)	2.0 ~ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ~ 14 (0/60)	8.6 ~ 9.8
	下層	0.6 ~ 11 (14/60)	6.2 ~ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ~ 2.1	0.91 ~ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ~ 0.82	0.44 ~ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ~ 0.15	0.061 ~ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ~ 0.25	0.038 ~ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大~最小」の値は、調査地点 1~5 における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m: 環境基準値を満たしていないデータ数、n: 総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小~最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75% 値の最小~最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表 [令和2年9月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	717
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	716
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.10ng/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	716
	1時間値が0.20ng/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [令和2年9月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1 時間値の最高値 (ppm)
日	1 (火)	0.004	0.005
	2 (水)	0.004	0.006
	3 (木)	0.004	0.005
	4 (金)	0.004	0.005
	5 (土)	0.004	0.005
	6 (日)	0.004	0.007
	7 (月)	0.004	0.009
	8 (火)	0.005	0.005
	9 (水)	0.005	0.008
	10 (木)	0.005	0.006
別	11 (金)	0.005	0.005
	12 (土)	0.005	0.008
	13 (日)	0.004	0.005
	14 (月)	0.004	0.005
	15 (火)	0.005	0.006
	16 (水)	0.005	0.006
	17 (木)	0.004	0.006
	18 (金)	0.004	0.005
	19 (土)	0.004	0.005
	20 (日)	0.005	0.005
値	21 (月)	0.004	0.005
	22 (火)	0.004	0.005
	23 (水)	0.004	0.005
	24 (木)	0.005	0.007
	25 (金)	0.004	0.004
	26 (土)	0.005	0.006
	27 (日)	0.004	0.005
	28 (月)	0.004	0.005
	29 (火)	0.004	0.005
	30 (水)	0.005	0.006
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		717	
月平均値 (ppm)		0.004	
日平均値の最高値 (ppm)		0.005	
1時間値の最高値 (ppm)		0.009	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [令和2年9月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (火)	0.006	0.012
	2 (水)	0.007	0.022
	3 (木)	0.007	0.025
	4 (金)	0.008	0.020
	5 (土)	0.005	0.008
	6 (日)	0.004	0.007
	7 (月)	0.006	0.013
	8 (火)	0.006	0.026
	9 (水)	0.010	0.030
	10 (木)	0.011	0.031
別	11 (金)	0.019	0.036
	12 (土)	0.008	0.027
	13 (日)	0.004	0.005
	14 (月)	0.005	0.008
	15 (火)	0.006	0.017
	16 (水)	0.005	0.011
	17 (木)	0.007	0.017
	18 (金)	0.007	0.018
	19 (土)	0.004	0.005
	20 (日)	0.004	0.004
値	21 (月)	0.004	0.004
	22 (火)	0.004	0.005
	23 (水)	0.005	0.007
	24 (木)	0.008	0.029
	25 (金)	0.008	0.015
	26 (土)	0.006	0.014
	27 (日)	0.004	0.004
	28 (月)	0.005	0.009
	29 (火)	0.007	0.019
	30 (水)	0.006	0.014
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		716	
月平均値 (ppm)		0.006	
日平均値の最高値 (ppm)		0.019	
1時間値の最高値 (ppm)		0.036	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [令和2年9月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (火)	0.017	0.029
	2 (水)	0.015	0.030
	3 (木)	0.012	0.021
	4 (金)	0.018	0.034
	5 (土)	0.016	0.023
	6 (日)	0.007	0.025
	7 (月)	0.012	0.020
	8 (火)	0.014	0.025
	9 (水)	0.030	0.054
	10 (木)	0.025	0.036
別	11 (金)	0.026	0.040
	12 (土)	0.011	0.021
	13 (日)	0.006	0.012
	14 (月)	0.014	0.025
	15 (火)	0.025	0.037
	16 (水)	0.020	0.036
	17 (木)	0.016	0.036
	18 (金)	0.009	0.023
	19 (土)	0.010	0.019
	20 (日)	0.008	0.013
値	21 (月)	0.007	0.014
	22 (火)	0.008	0.015
	23 (水)	0.015	0.029
	24 (木)	0.027	0.049
	25 (金)	0.025	0.037
	26 (土)	0.017	0.028
	27 (日)	0.005	0.008
	28 (月)	0.016	0.029
	29 (火)	0.020	0.033
	30 (水)	0.020	0.040
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		716	
月平均値 (ppm)		0.016	
日平均値の最高値 (ppm)		0.030	
1時間値の最高値 (ppm)		0.054	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [令和2年9月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	
日	1 (火)	0.023	75.4	0.033
	2 (水)	0.023	67.0	0.052
	3 (木)	0.019	63.4	0.042
	4 (金)	0.025	69.9	0.044
	5 (土)	0.021	77.9	0.030
	6 (日)	0.011	63.5	0.031
	7 (月)	0.018	65.0	0.031
	8 (火)	0.020	72.4	0.050
	9 (水)	0.040	75.6	0.084
	10 (木)	0.036	68.4	0.060
	11 (金)	0.045	58.4	0.063
	12 (土)	0.019	59.0	0.044
	13 (日)	0.010	63.5	0.017
	14 (月)	0.019	75.0	0.032
	15 (火)	0.031	80.4	0.046
別	16 (水)	0.026	78.9	0.044
	17 (木)	0.023	71.1	0.053
	18 (金)	0.016	58.7	0.041
	19 (土)	0.014	71.4	0.023
	20 (日)	0.012	67.5	0.017
	21 (月)	0.011	63.2	0.018
	22 (火)	0.012	66.7	0.020
	23 (水)	0.020	76.9	0.035
	24 (木)	0.035	76.8	0.070
	25 (金)	0.033	76.5	0.051
	26 (土)	0.022	74.6	0.042
	27 (日)	0.009	56.0	0.012
	28 (月)	0.021	76.2	0.036
	29 (火)	0.027	75.5	0.051
	30 (水)	0.026	78.1	0.048
有効測定日数 (日)		30		
測定時間 (時間)		716		
月平均値 (ppm)		0.022		
日平均値の最高値 (ppm)		0.045		
1時間値の最高値 (ppm)		0.084		
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		71.1		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂) の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値NO₂ / (NO+NO₂) =

(NO₂ 及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO₂ 及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [令和2年9月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(mg/m ³)	1時間値の最高値(mg/m ³)
日	1 (火)	0.017	0.058
	2 (水)	0.012	0.038
	3 (木)	0.015	0.032
	4 (金)	0.017	0.033
	5 (土)	0.018	0.043
	6 (日)	0.010	0.063
	7 (月)	0.017	0.055
	8 (火)	0.021	0.076
	9 (水)	0.022	0.048
	10 (木)	0.013	0.029
別	11 (金)	0.013	0.030
	12 (土)	0.010	0.032
	13 (日)	0.007	0.016
	14 (月)	0.004	0.007
	15 (火)	0.009	0.015
	16 (水)	0.014	0.045
	17 (木)	0.013	0.028
	18 (金)	0.013	0.049
	19 (土)	0.009	0.014
	20 (日)	0.014	0.018
値	21 (月)	0.010	0.015
	22 (火)	0.011	0.019
	23 (水)	0.015	0.020
	24 (木)	0.021	0.029
	25 (金)	0.011	0.036
	26 (土)	0.006	0.011
	27 (日)	0.005	0.009
	28 (月)	0.008	0.011
	29 (火)	0.012	0.017
	30 (水)	0.013	0.017
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		716	
月平均値 (mg/m ³)		0.013	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.022	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.076	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第7号（埋立地関連）

気象観測結果（風向・風速）[令和2年9月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (火)	0.9	2.5	SE	ENE
	2 (水)	1.6	3.2	ESE	ESE
	3 (木)	1.3	2.2	S	SE, S, SW
	4 (金)	0.6	2.0	SE	CALM
	5 (土)	0.8	2.6	SW	CALM
	6 (日)	1.6	2.8	ESE	ENE
	7 (月)	1.8	3.7	SSE	SSW
	8 (火)	1.2	3.8	SSW	W
	9 (水)	0.7	2.0	ESE	ESE, CALM
	10 (木)	0.6	2.2	ESE	CALM
別	11 (金)	0.6	1.2	SE, ESE	CALM
	12 (土)	1.1	3.2	ESE	WSW
	13 (日)	1.0	1.9	WSW	WSW
	14 (月)	0.7	1.6	WSW	NNW
	15 (火)	0.6	1.4	W, W	CALM
	16 (水)	0.9	1.8	W	E, W
	17 (木)	0.7	1.7	WSW	WSW
	18 (金)	1.6	3.6	WSW	SW
	19 (土)	0.9	2.5	WSW	N
	20 (日)	0.7	1.5	ESE	CALM
値	21 (月)	0.9	1.9	W	NNE
	22 (火)	1.4	3.2	ESE	NE
	23 (水)	1.2	1.9	ENE	NNE, NE
	24 (木)	0.5	1.5	W	CALM
	25 (金)	0.8	2.0	NNE, ENE	NNE
	26 (土)	0.8	1.6	SW	WSW
	27 (日)	0.8	1.6	NW	NW
	28 (月)	0.7	1.4	N, N	N
	29 (火)	0.8	1.6	E	ENE
	30 (水)	0.8	1.4	ENE	WNW
測定時間（時間）		720			
月平均風速（m/s）		1.0			
月最大風速（m/s）		3.8			
月最多風向（16方位）		ESE			

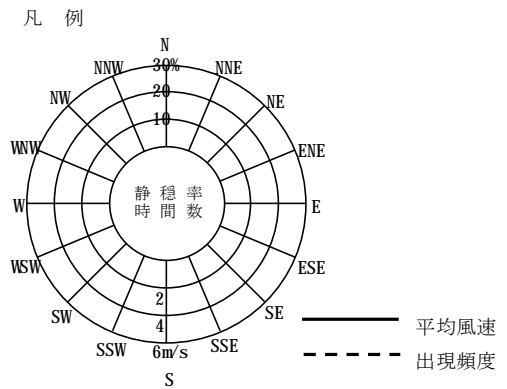
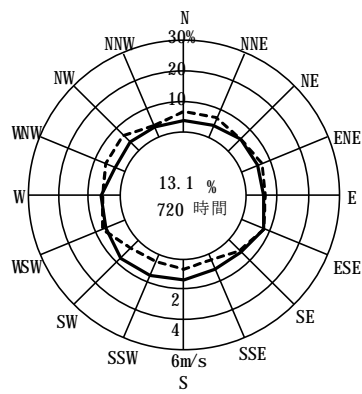
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和2年9月分]

方位 項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WWW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度数	49	39	52	42	55	34	16	22	18	26	54	42	47	51	31	48	94	720
頻度 (%)	6.8	5.4	7.2	5.8	7.6	4.7	2.2	3.1	2.5	3.6	7.5	5.8	6.5	7.1	4.3	6.7	13.1	-
平均風速 (m/s)	0.8	1.1	1.1	1.1	1.5	1.1	1.1	1.3	1.5	1.6	1.3	1.2	0.7	0.8	0.7	0.8	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和2年9月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）〔令和2年9月分〕

調査日：令和2年9月9日

項目	調査点					最小値	～	最大値	平均値
	1	2	3	4	5				
時刻	11:15	11:50	10:55	10:25	9:58	-			-
透明度 [m]	1.9	1.6	2.1	1.8	2.7	1.6	～	2.7	2.0
水温 [°C]	27.2	27.4	27.0	26.5	26.6	26.5	～	27.4	26.9
	24.3	25.7	25.5	24.4	24.6	24.3	～	25.7	24.9
塩分 [-]	26.8	16.8	27.5	24.9	28.0	16.8	～	28.0	24.8
	32.0	31.6	32.0	31.5	30.2	30.2	～	32.0	31.5
濁度 [度(カリン)]	7	8	6	7	8	6	～	8	7
	3	2	2	2	4	2	～	4	3
浮遊物質量 (SS) [mg/L]	5	6	4	5	5	4	～	6	5
	2	2	2	2	3	2	～	3	2
水素イオン濃度 (pH) [-]	8.3	8.4	8.2	8.2	8.1	8.1	～	8.4	-
	8.1	8.1	8.1	8.0	7.9	7.9	～	8.1	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	5.5	5.3	4.5	4.3	3.6	3.6	～	5.5	4.6
	1.4	1.8	1.4	1.5	2.4	1.4	～	2.4	1.7
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	7.3	10	7.1	6.7	6.7	～	10	7.6
	飽和度 [%]	107	139	104	96	98	96	～	139
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.60	1.3	0.61	0.88	0.68	0.60	～	1.3	0.81
	0.41	0.27	0.26	0.36	0.50	0.26	～	0.50	0.36
全燐 (T-P) [mg/L]	0.10	0.12	0.094	0.14	0.094	0.094	～	0.14	0.11
	0.13	0.035	0.036	0.062	0.082	0.035	～	0.13	0.069
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]	51	49	37	35	26	26	～	51	40
	1.3	2.3	5.1	2.1	9.1	1.3	～	9.1	4.0

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
